

公開講座「家族支援の実践実技講座」

高度な家族支援の理論と技術を習得することは、医療、福祉、保健、教育分野に関わる専門家にとって重要課題の一つと考えます。本講座では、少人数の対人関係システムの変容を実現する最先端の支援理論と洗練された技法論（質問法）を学習する機会を提供します。最新の理論と技術を学ぶことで、受講者の方それぞれの日常の実践はリフレクションされ、直面されている困難事例への新しい見立て方と解決法が得られます。なお、この講座は4回の連続講座として開講します。ただし、会場ごと（2回連続）での受講も可能です。

回	日 時	会 場	内 容
1	7月17日（日） 10：00～16：00	県立広島大学 三原キャンパス （三原市学園町 1番1号）	「家族支援の理論と技法1」 家族を含む生活場面での問題を、生成的システムズ理論に基づき理解する方法を学びます。また支援手順を概説し、システム変容に有用な「循環的質問法」を講義と演習を通して学びます。
2	7月24日（日） 10：00～16：00		「家族支援の理論と技法2」 生成的システムズ理論に基づく家族への支援法について、1回目、の内容を踏まえながら、理論的学習を行います。その上で、児童分野の事例を取り上げ、その事例の問題の評価、介入計画を少人数のグループに分かれ話し合ってもらい、その結果を発表し、議論します。そして介入計画に基づく実践のロールプレイを行い、支援技法の使用法を体験的に学びます。
3	7月31日（日） 10：00～16：00	県立広島大学 広島キャンパス （広島市南区宇品 東一丁目1番71号）	「家族支援の理論と技法3」 1回目、2回目の理論と質問法の復習を行います。その上で、医療化されがちなクライアントの問題行動や心身の症状の訴えを、語用論的世界で理解する理論を学びます。そして、高齢者分野の事例を取り上げ、問題の評価、介入計画の立案に取り組みます。その計画に基づく演習を行い、支援技術の実践を学びます。
4	8月7日（日） 10：00～16：00		「家族支援の理論と技法4」 1回目～3回目までの内容の総復習を行います。障害者分野の事例を取り上げ、理論と実践のリンクを強く意識し、インテンシブな面接の実践を体験的に学びます。受講者によって実演された過程を逐語形式で記録し、その記録をもとに、技法の使用法を具体的に学びます。これらを通して、家族支援の実践論と支援技術の習得が目指されます。

※昼休憩1時間を含みますので、各自で昼食をご準備ください。

- ◆講 師： 県立広島大学保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 大下由美
- ◆受講対象者： 家族支援に関わっている専門家
- ◆募集人員： 10名（先着順）
- ◆受講料： 8,200円（ただし、1会場のみ受講の場合は6,200円）
- ◆修了証： 希望者に交付
- ◆申込方法： 公開講座申込書（別紙）をご記入いただき、返信用封筒^{*}を同封のうえ、下記へお送りください。
 ※返信用封筒（長形3号：横120mm×縦235mm）に82円切手を添付してください。
 申込み締切後、6月下旬頃に返信用封筒にて、受講案内と受講料振込案内を送付します。
 定員に達し、受講できない場合は別途お知らせします。
- ◆申込締切： 平成28年6月27日（月）必着
- ◆申込・問合せ先： 〒723-0053 三原市学園町1番1号 県立広島大学三原地域連携センター
 公開講座「家族支援の実践実技講座」係
 TEL：0848-60-1200（直通） 0848-60-1120（代表）
 E-mail：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp
- ◆主 催： 県立広島大学三原地域連携センター

受講番号 (区分コードNo)

平成28年度 県立広島大学 公開講座 申込書

講座名	公開講座「家族支援の実践実技講座」
受講希望会場	※受講を希望する会場に○印をご記入ください。 両キャンパス ・ 広島キャンパスのみ ・ 三原キャンパスのみ
修了証交付希望の有無	該当する方に☑印をお付けください。 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
ふりがな 名前	
現住所	〒
電話	() - 日中の連絡先:
E-mail	
職種	
所属先	

*受講申込に伴う個人情報については、公開講座以外の目的には使用しません。

<主催：県立広島大学三原地域連携センター>